

## 言語学ワークショップ開催のお知らせ

### 『日本語統語論研究の広がり—理論と記述の相互関係—』

日時：平成 29 年 3 月 27 日（月） 13:30～17:30  
場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎 120 講義室

筑波大学で長年にわたり生成統語論、対照言語学、日本語文法論の研究・教育に尽力してこられた竹沢幸一先生が還暦を迎えられるのを機に、言語学ワークショップを上記の日程で開催いたします。竹沢先生の基調講演に続き、先生から教えを受けた研究者による日英語の統語論・意味論に関する発表が行われます。会場全体で日本語統語論研究の今後の展開について考えていければと思います。日英語を基軸とした言語研究に関心のあるみなさまのご来聴を歓迎いたします。

13:30 趣旨説明 島田雅晴（筑波大学）  
13:35～14:50 **基調講演** 司会：本間伸輔（新潟大学）

「生成文法の理論的展開と日本語の格現象の分析  
—事実観察と理論構築の相互関係—」

竹沢幸一（筑波大学）

15:00～17:30 **ワークショップ**  
《第 1 部：日本語からの統語研究》 司会：本間伸輔（新潟大学）

15:00～15:30 「可能文の格パターンと他動性再考」  
石田尊（筑波大学）・田川拓海（筑波大学）

15:30～16:00 「焦点卓越言語としての日本語における定形節のフェイズ性」  
三上傑（東北大学）

16:00～16:10 休憩

《第 2 部：日英対照言語研究》 司会：島田雅晴（筑波大学）

16:10～16:40 「日本語における<過程>と<状態>の言語化—英語との対照を通して—」  
佐藤琢三（学習院女子大学）

16:40～17:10 「価値判断の二次述語とモダリティに関する日英語比較統語論」  
松岡幹就（山梨大学）

17:10～17:30 全体討論

問い合わせ先：本間伸輔（新潟大学）(homma@ed.niigata-u.ac.jp)